

ベビーグッズや英語の教材をネットで買っています

子どもとの話し合いをもちながら ITを生活に取り込んでいきたい

久保純子

世界情報社会サミット親善大使
NHKアナウンサー

PROFILE

72年東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒。94年NHKに入局。『プロジェクトX』司会や『紅白歌合戦』の紅組司会などを務める。今年7月にWSIS親善大使に選ばれ、12月まで広報活動などに従事する予定。

生活を楽しく豊かにする
ITにワクワクしています

国連が主催する「世界情報社会サミット(WSSIS)」の親善大使に任命された久保さんは、意外にもアナログな人間なのだという。「携帯電話のメールもやっていませんしITとは縁遠かったんです。素人の目線を大切にしよう」と、知らないことは全部、素直に質問させていただきました。任命後には、WSSISやITに関する勉強会にも参加している。「総務省にお邪魔するのは初めて

で緊張したんですが、レクチャーしてくださる方には女性が多く、気軽に質問することができました」。

最近ではIT関連のシンポジウムで司会を務めるなど、親善大使の活動もすでに本番に入っている。「パネルディスカッションなどで、みなさんが具体的なビジョンを語ってくださるのを聞くと、私自身、素人としてこんな世界がやってくるんだ!とワクワクします」。

12月のWSSISでは、ワークショップなどの司会を務める予定だ。「海外から目を向けられない限りは真の国際化とは言えませんから、海外の企業も頑張っているなかで、日本の技術をしつかりアピールすることができればと思っています」。

そんな久保さんが自宅でネットを始めたのは、つい去年のことだ。「絵本やビデオなどのベビーグッズをネットで買っています。そうやって気が付かないうちに、ITが生活に入ってきているんですね」。

そうなることやほり気になるのは、ITと子育ての関係だろうか? 「子どもがネットを使い始めると、親の目が届かない部分が出てきます。そんなとき顔ごなしに否定するのは、自分でも生活に取り込むことが大切なんだと思います」。



●久保親善大使を中心にしたHPも開設中だ(<http://www.soumu.go.jp/wsis-ambassador/>)。

●WSIS(12月10日~12日)は、国連サミットとして情報技術・社会を取り上げる初の試みだ。

